

具体的目標の進捗管理に係る参考指標＜目次＞

方向性Ⅰ)若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

- (01頁) 男女別就業率(15～34歳)
- (02頁) 女性の就業率(15歳～)
- (03頁) 女性の有業率・潜在有業率
- (04頁) 出生数
- (05頁) 初婚年齢・第一子出生年齢
- (06頁) 学力調査の詳細結果

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

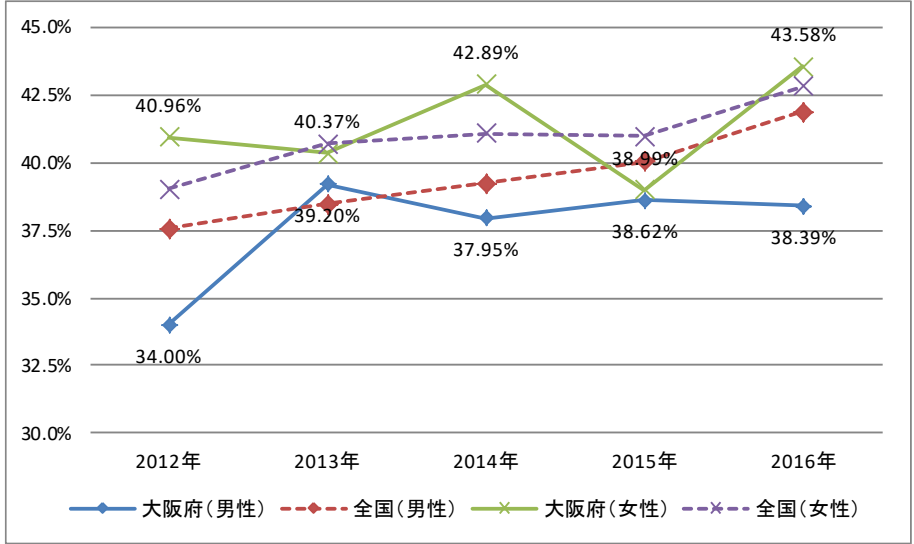
- (07頁) 平均寿命・健康寿命
- (08頁) 死因別死亡率等
- (09頁) がん検診受診率
- (10頁) 要介護認定率
- (11頁) 障がい者の雇用率等
- (12頁) 地震による被害縮小するための取組み
- (13頁) 密集市街地対策の検証と今後の取組み

方向性Ⅲ)東西二極の一極としての社会経済構造の構築

- (16頁) 経済成長率
- (17頁) 大阪の開業数・廃業数
- (18頁) 来阪外客数
- (19頁) 訪日外国人消費の波及効果
- (20頁) 住民基本台帳人口移動報告による転出入状況
- (24頁) 大阪府から東京圏への転出理由

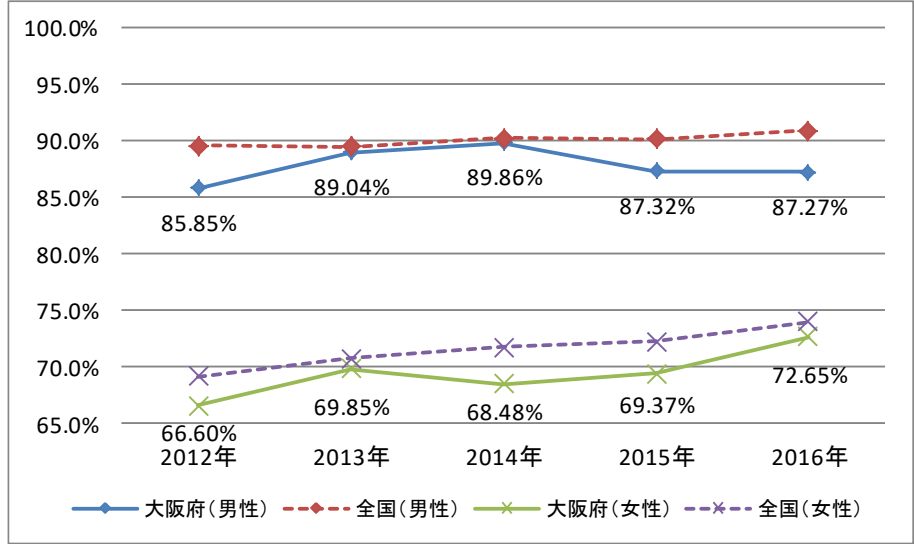
方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

■ 男女別就業率(15～24歳)の推移



| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大阪府(男性) | 34.00% | 39.20% | 37.95% | 38.62% | 38.39% |
| 全国(男性) | 37.58% | 38.46% | 39.23% | 40.03% | 41.89% |
| 大阪府(女性) | 40.96% | 40.37% | 42.89% | 38.99% | 43.58% |
| 全国(女性) | 39.04% | 40.70% | 41.08% | 40.98% | 42.83% |

■ 男女別就業率(25～34歳)の推移

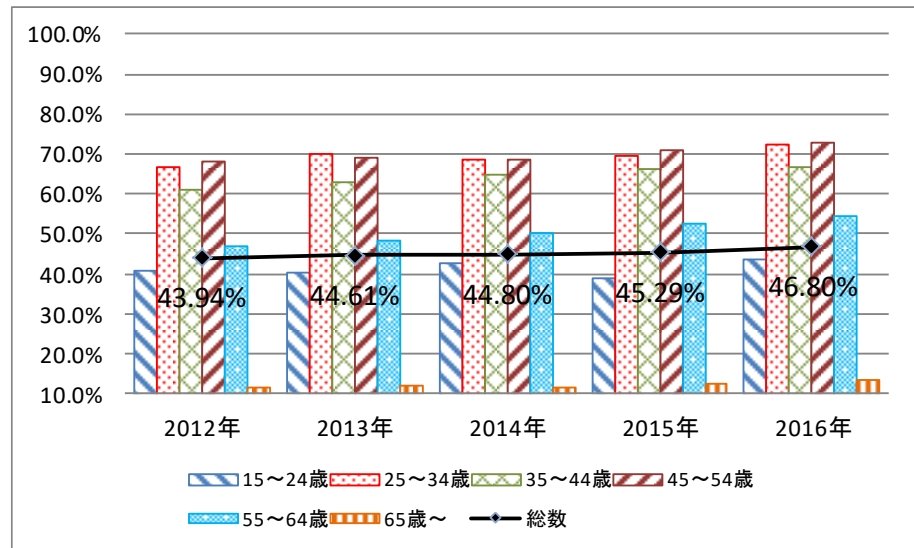


| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大阪府(男性) | 85.85% | 89.04% | 89.86% | 87.32% | 87.27% |
| 全国(男性) | 89.55% | 89.54% | 90.26% | 90.18% | 90.90% |
| 大阪府(女性) | 66.60% | 69.85% | 68.48% | 69.37% | 72.65% |
| 全国(女性) | 69.16% | 70.77% | 71.74% | 72.21% | 74.02% |

資料: 大阪府「労働力調査地方集計結果」および総務省「労働力調査」より作成

方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

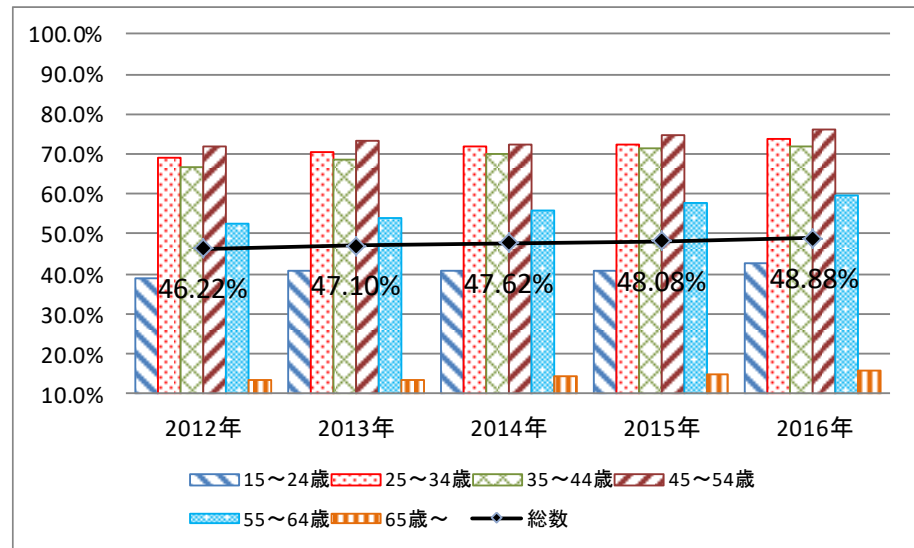
■ 女性の就業率の推移(大阪府)



| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 15~24歳 | 40.96% | 40.37% | 42.89% | 38.99% | 43.58% |
| 25~34歳 | 66.60% | 69.85% | 68.48% | 69.37% | 72.65% |
| 35~44歳 | 61.33% | 62.93% | 64.66% | 66.11% | 66.87% |
| 45~54歳 | 67.96% | 68.92% | 68.78% | 71.03% | 72.84% |
| 55~64歳 | 46.85% | 48.28% | 50.37% | 52.69% | 54.58% |
| 65歳~ | 11.57% | 12.00% | 11.80% | 12.63% | 13.41% |
| 総数 | 43.94% | 44.61% | 44.80% | 45.29% | 46.80% |

資料:大阪府「労働力調査地方集計結果(年平均)」より作成

■ 女性の就業率の推移(全国)

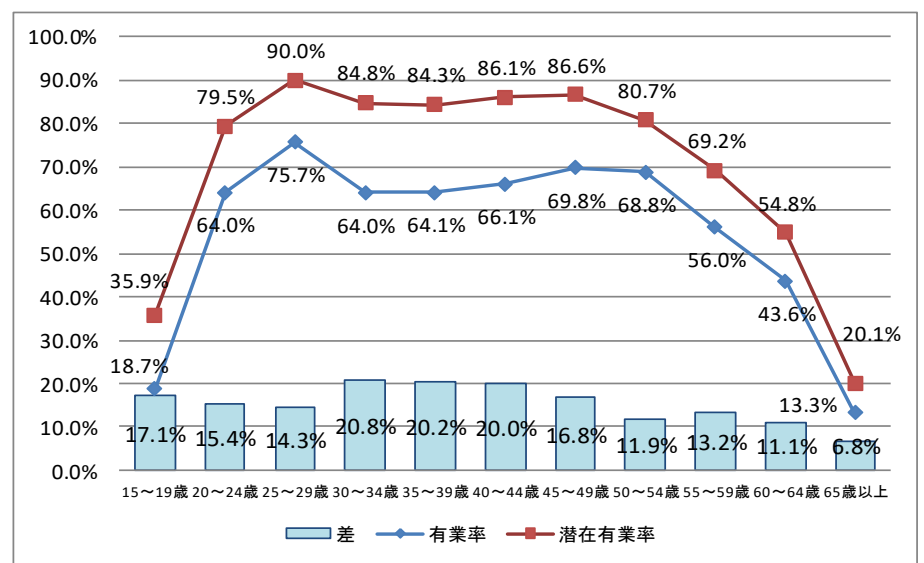


| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 15~24歳 | 39.04% | 40.70% | 41.08% | 40.98% | 42.83% |
| 25~34歳 | 69.16% | 70.77% | 71.74% | 72.21% | 74.02% |
| 35~44歳 | 66.70% | 68.65% | 70.21% | 71.27% | 71.84% |
| 45~54歳 | 72.17% | 73.38% | 72.20% | 74.85% | 76.00% |
| 55~64歳 | 52.43% | 54.22% | 56.00% | 57.89% | 59.72% |
| 65歳~ | 13.34% | 13.66% | 14.32% | 15.05% | 15.77% |
| 総数 | 46.22% | 47.10% | 47.62% | 48.08% | 48.88% |

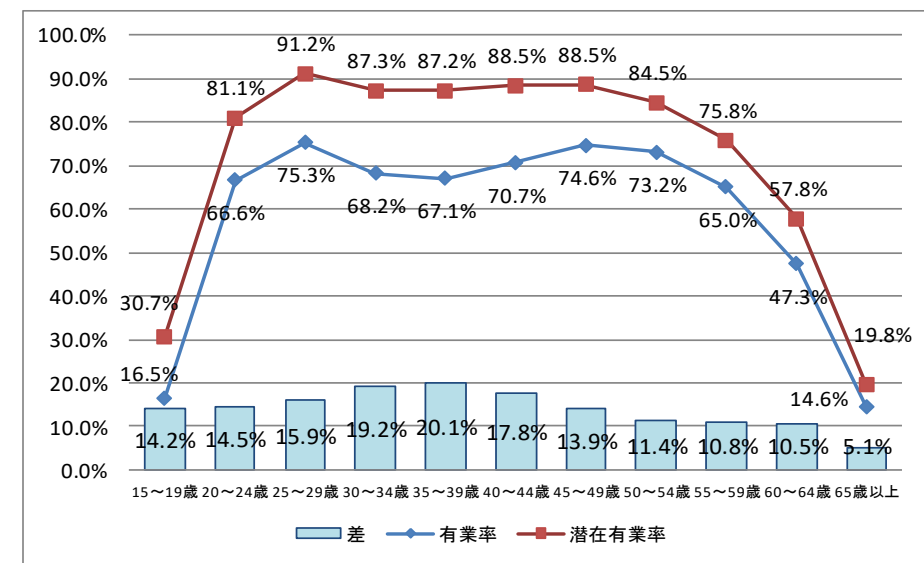
資料:総務省「労働力調査」より作成

方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

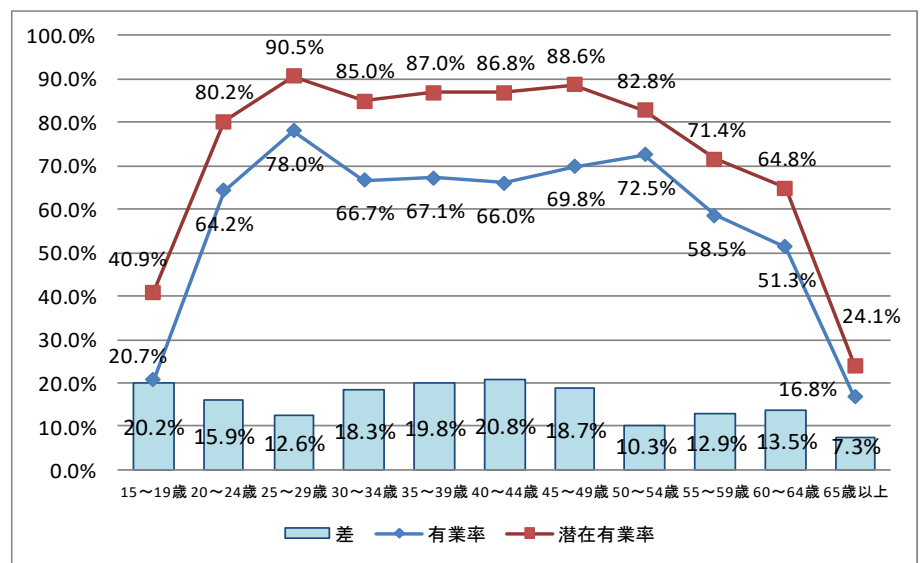
■ 女性の有業率・潜在的有業率(大阪府)



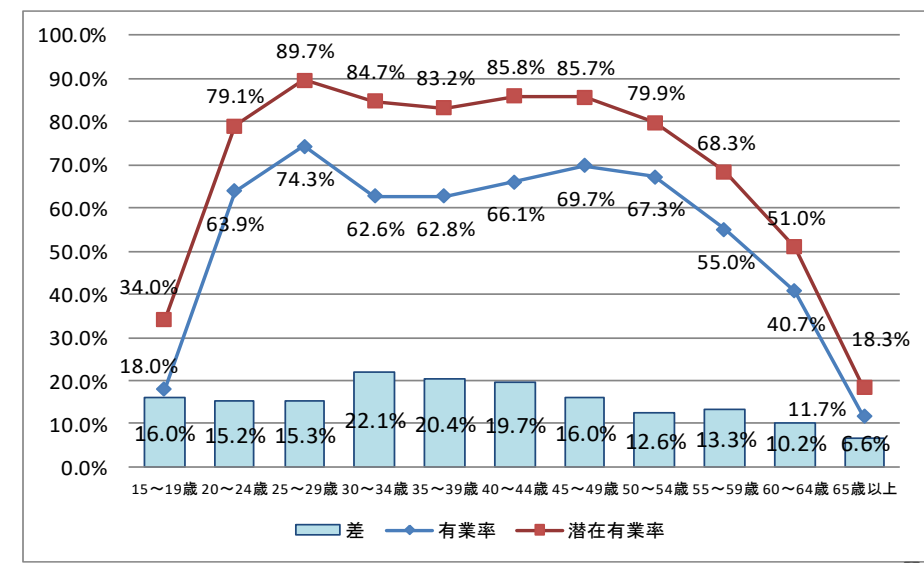
■ 女性の有業率・潜在的有業率(全国)



■ 女性の有業率・潜在的有業率(大阪市)



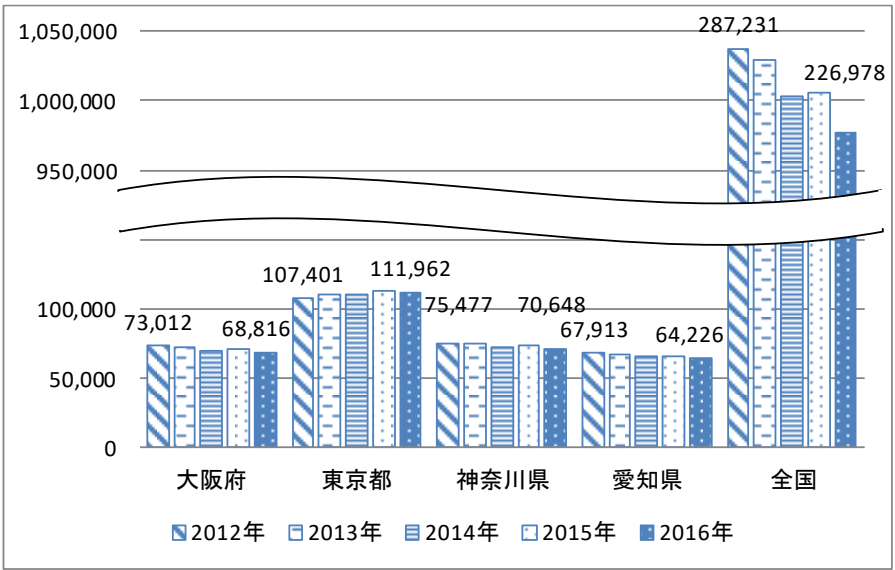
■ 女性の有業率・潜在的有業率(大阪市を除く府域)



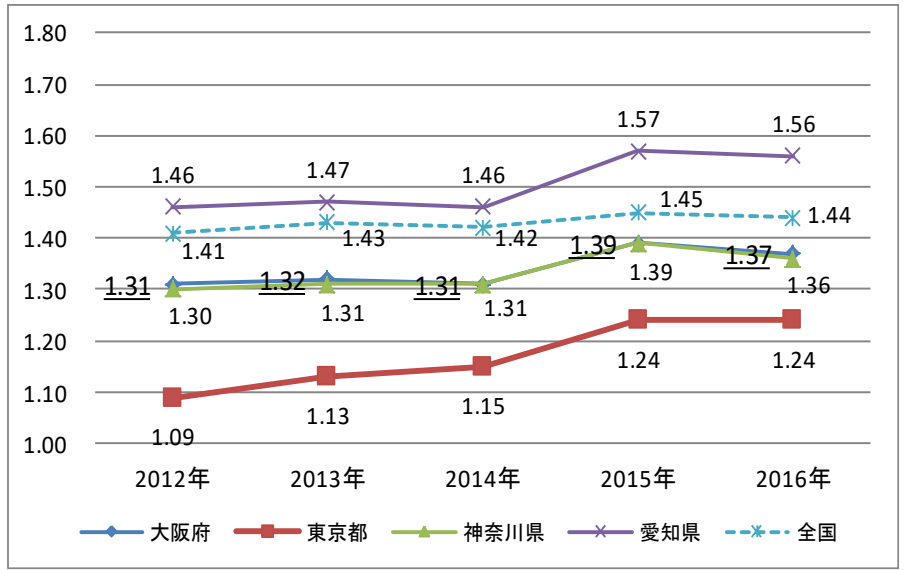
資料：2012年 総務省「就業構造基本調査」より作成

方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

■ 出生数の推移



■ 合計特殊出生率の推移



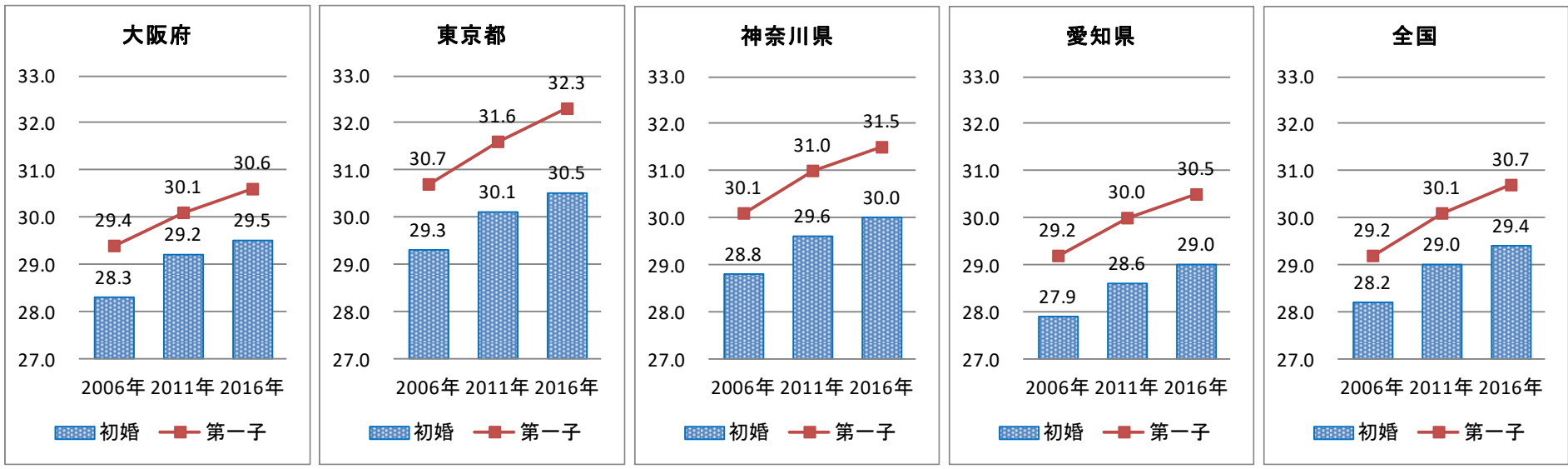
| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 大阪府 | 73,012 | 72,054 | 69,968 | 70,596 | 68,816 |
| 東京都 | 107,401 | 109,986 | 110,629 | 113,194 | 111,962 |
| 神奈川県 | 75,477 | 74,320 | 72,966 | 73,475 | 70,648 |
| 愛知県 | 67,913 | 66,825 | 65,218 | 65,615 | 64,226 |
| 全国 | 1,037,231 | 1,029,816 | 1,003,539 | 1,005,677 | 976,978 |

| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 1.31 | 1.32 | 1.31 | 1.39 | 1.37 |
| 東京都 | 1.09 | 1.13 | 1.15 | 1.24 | 1.24 |
| 神奈川県 | 1.30 | 1.31 | 1.31 | 1.39 | 1.36 |
| 愛知県 | 1.46 | 1.47 | 1.46 | 1.57 | 1.56 |
| 全国 | 1.41 | 1.43 | 1.42 | 1.45 | 1.44 |

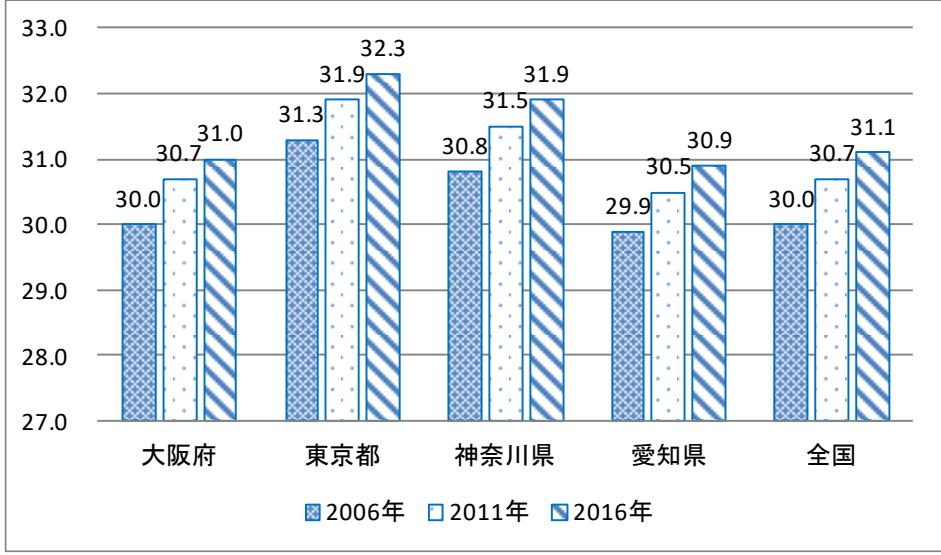
資料:厚生労働省「人口動態統計」より作成

方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

■ 初婚年齢および第一子出生年齢の推移(女性)



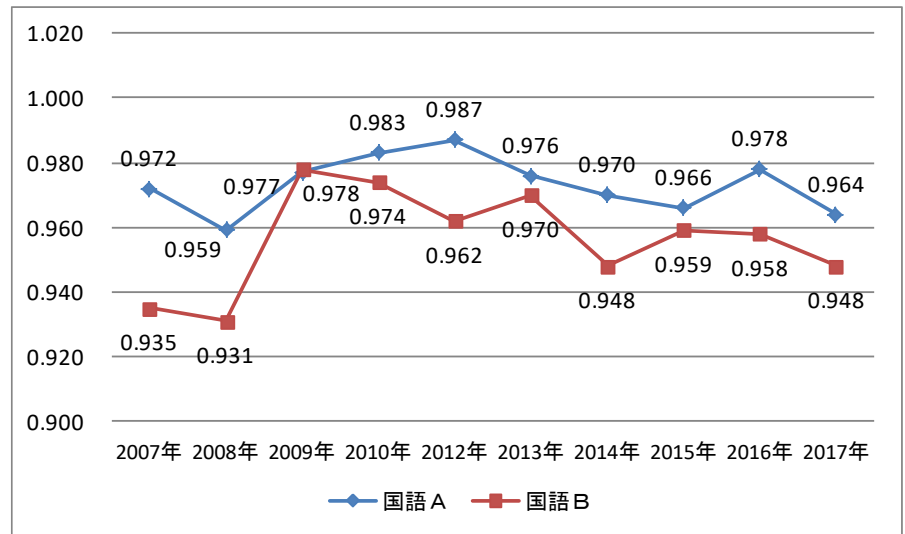
■ 初婚年齢の推移(男性)



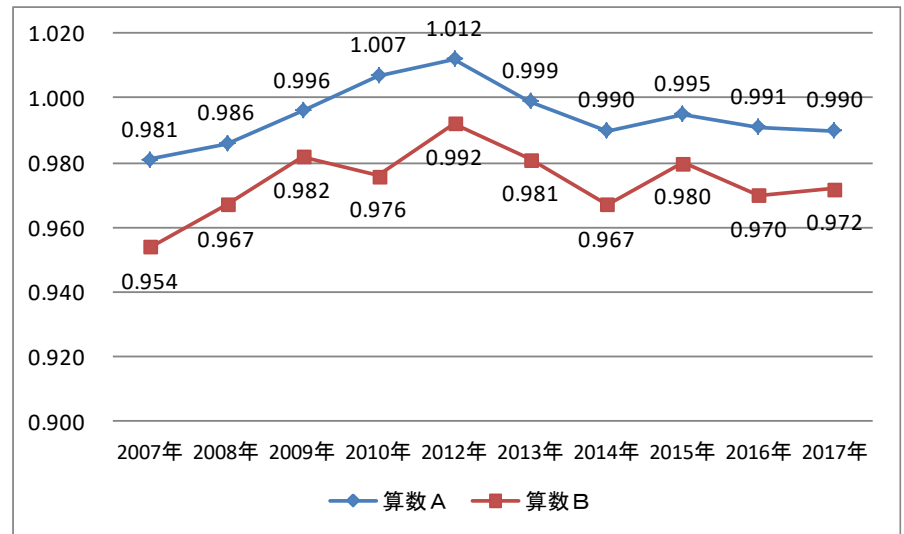
資料: 厚生労働省「人口動態統計」より作成

方向性 I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

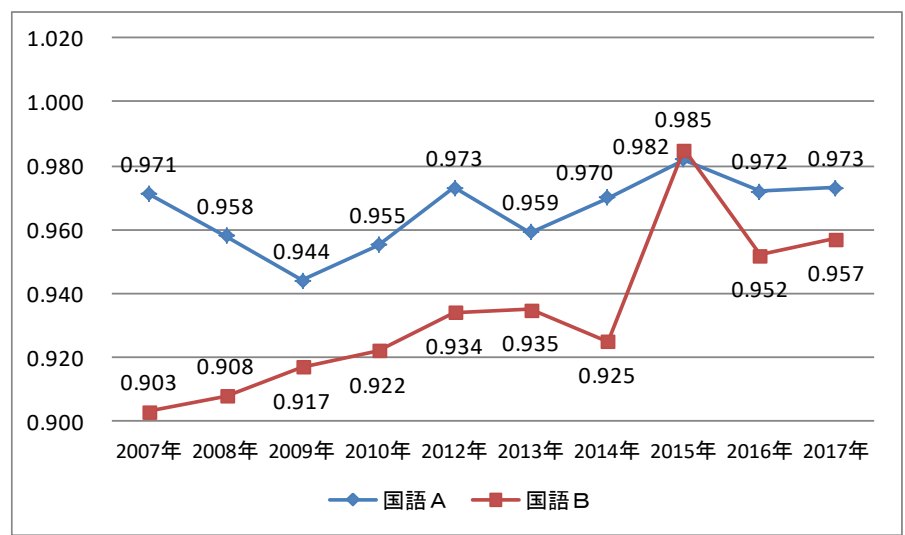
■ 学力調査 対全国比(小学校・国語)



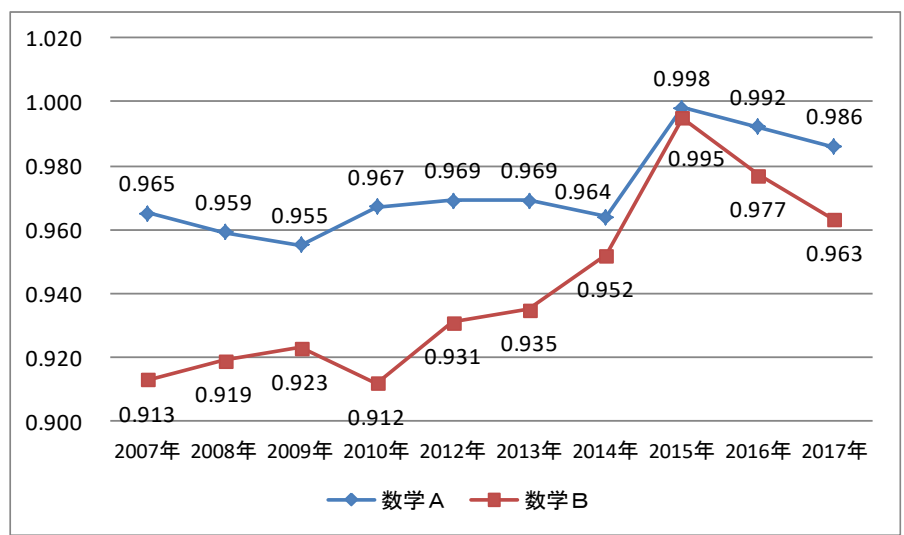
■ 学力調査 対全国比(小学校・算数)



■ 学力調査 対全国比(中学校・国語)



■ 学力調査 対全国比(中学校・数学)



区分A: 主として「知識」に関する調査

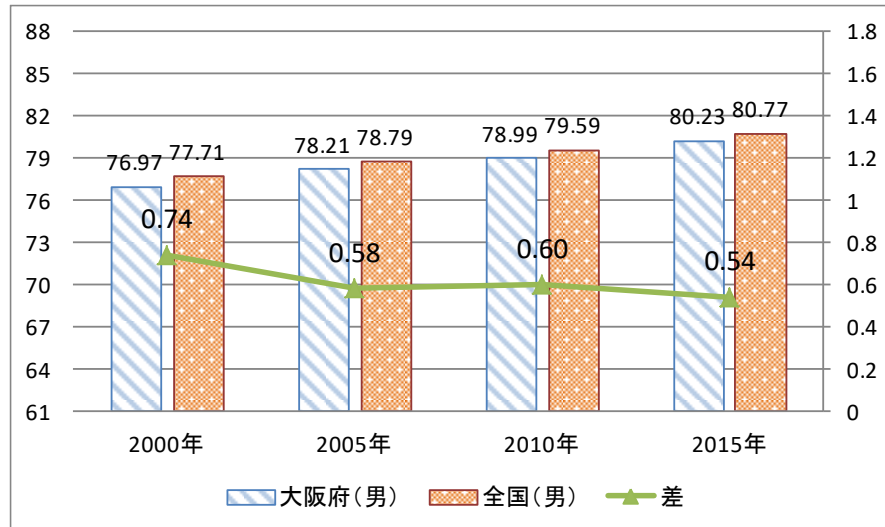
区分B: 主として「活用」に関する調査

資料: 文部科学省「全国学力・学習状況調査」より作成

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

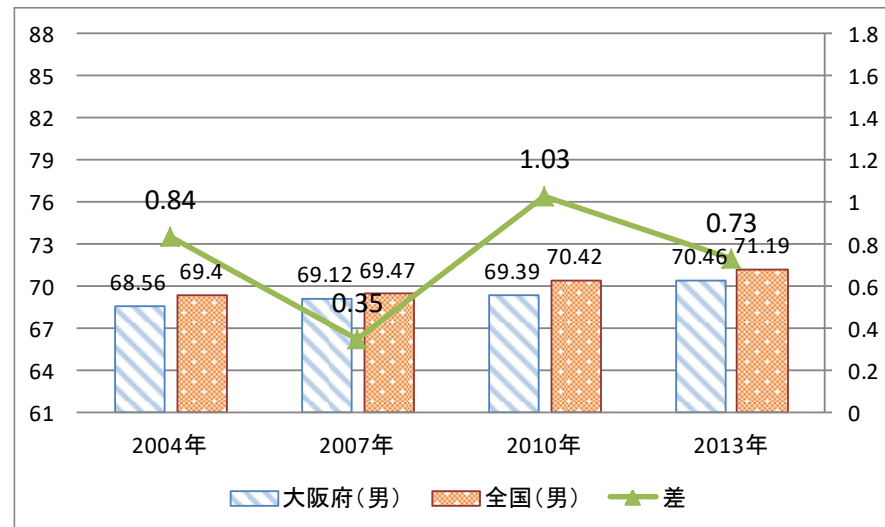
■ 平均寿命の推移(男性)

(単位:人)



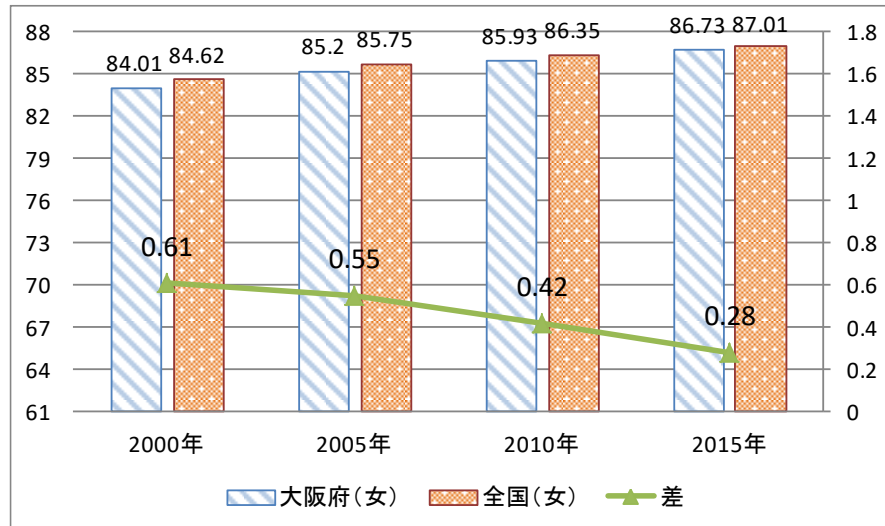
■ 健康寿命の推移(男性)

(単位:人)



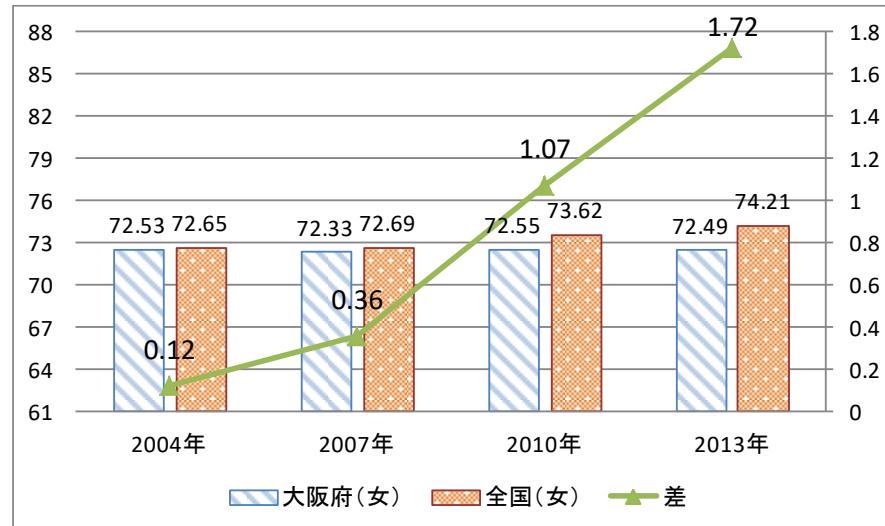
■ 平均寿命の推移(女性)

(単位:人)



■ 健康寿命の推移(女性)

(単位:人)



方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■ 死因別死亡確率(男性)

(単位:%)

| | 悪性新生物 | 心疾患 (高血圧性を除く) | 脳血管疾患 | 肺炎 | 不慮の事故 | 自殺 | 腎不全 | 肝疾患 | 糖尿病 | 高血圧性疾患 | 結核 | 老衰 |
|------|-------|------------------|-------|-------|-------|------|------|------|------|--------|------|------|
| 大阪府 | 30.66 | 14.50 | 6.66 | 12.62 | 2.80 | 1.98 | 2.14 | 1.62 | 1.00 | 0.82 | 0.41 | 3.07 |
| 全国 | 29.38 | 14.26 | 8.08 | 11.24 | 3.21 | 1.97 | 1.98 | 1.22 | 0.99 | 0.44 | 0.20 | 4.75 |
| (順位) | 5 | 20 | 47 | 4 | 42 | 30 | 11 | 2 | 22 | 1 | 1 | 44 |

■ 死因別死亡確率(女性)

(単位:%)

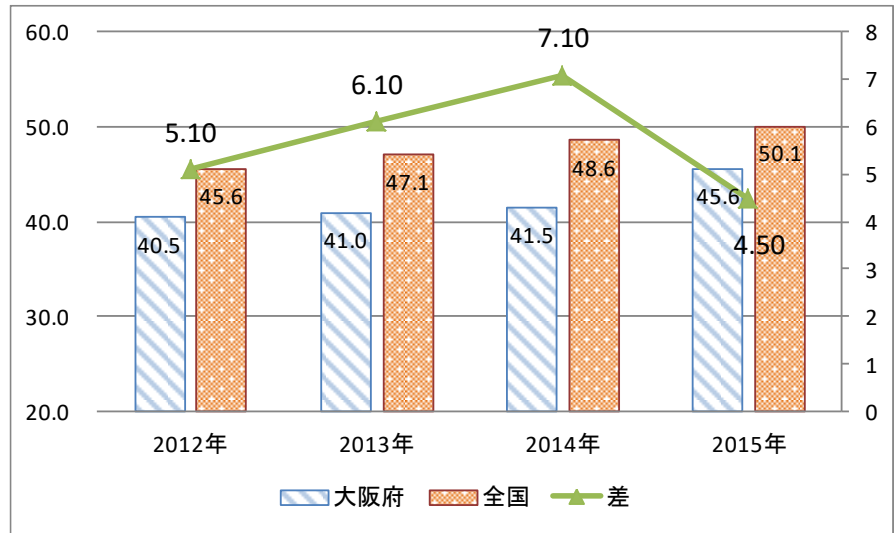
| | 悪性新生物 | 心疾患 (高血圧性を除く) | 脳血管疾患 | 肺炎 | 不慮の事故 | 自殺 | 腎不全 | 肝疾患 | 糖尿病 | 高血圧性疾患 | 結核 | 老衰 |
|------|-------|------------------|-------|-------|-------|------|------|------|------|--------|------|-------|
| 大阪府 | 21.22 | 18.22 | 7.46 | 11.66 | 2.27 | 0.92 | 2.43 | 0.95 | 0.89 | 1.04 | 0.19 | 10.22 |
| 全国 | 20.35 | 17.41 | 9.40 | 9.46 | 2.43 | 0.87 | 2.07 | 0.75 | 0.94 | 0.77 | 0.13 | 13.24 |
| (順位) | 8 | 16 | 47 | 2 | 38 | 13 | 6 | 2 | 31 | 3 | 1 | 44 |

※ 死因別死亡確率とは、生命表の上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したものであり、実際の死亡割合とは異なる。
 ※ 表中の死因別死亡確率は、0歳における数値である。

資料:厚生労働省「生命表」より作成

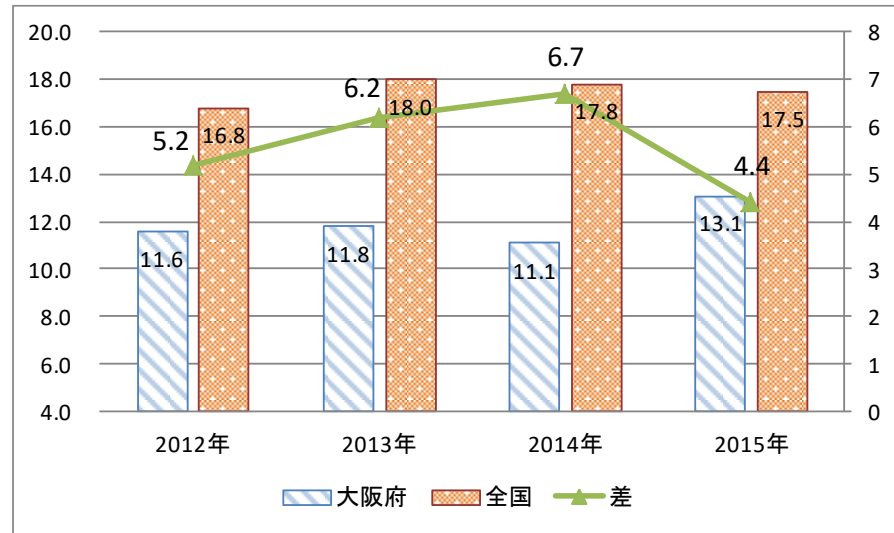
■ 特定健康診査の受診率

(単位:%)



■ 特定保健指導の実施率

(単位:%)



資料:厚生労働省「生命表」より作成

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■ がん検診受診率(男性)

(胃がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 25.5 | 25.2 | 32.5 | 36.7 |
| 全国 | 32.5 | 34.3 | 42.6 | 43.8 |
| 差 | 7.0 | 9.1 | 10.1 | 7.1 |

(大腸がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 23.4 | 20.7 | 30.6 | 35.7 |
| 全国 | 27.5 | 27.4 | 39.3 | 42.8 |
| 差 | 4.1 | 6.7 | 8.7 | 7.1 |

(肺がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 20.2 | 16.5 | 34.1 | 38.8 |
| 全国 | 25.7 | 24.9 | 43.9 | 48.3 |
| 差 | 5.5 | 8.4 | 9.8 | 9.5 |

※ 年次は調査実施年を表記
 ※ 受診率は、調査実施年の過去1年間の40歳以上の方の検診受診率

■ がん検診受診率(女性)

(胃がん) (単位:%)

| 胃がん | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 19.0 | 18.3 | 24.0 | 27.3 |
| 全国 | 25.3 | 26.3 | 31.6 | 33.6 |
| 差 | 6.3 | 8.0 | 7.6 | 6.3 |

(大腸がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 18.0 | 17.2 | 25.7 | 30.6 |
| 全国 | 22.7 | 22.6 | 32.1 | 35.9 |
| 差 | 4.7 | 5.4 | 6.4 | 5.3 |

(肺がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 14.5 | 13.5 | 24.9 | 29.7 |
| 全国 | 21.1 | 21.2 | 34.1 | 38.9 |
| 差 | 6.6 | 7.7 | 9.2 | 9.2 |

(乳がん) (単位:%)

| 乳がん | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 14.9 | 20.1 | 21.1 | 24.8 |
| 全国 | 20.3 | 24.3 | 27.4 | 29.7 |
| 差 | 5.4 | 4.2 | 6.3 | 4.9 |

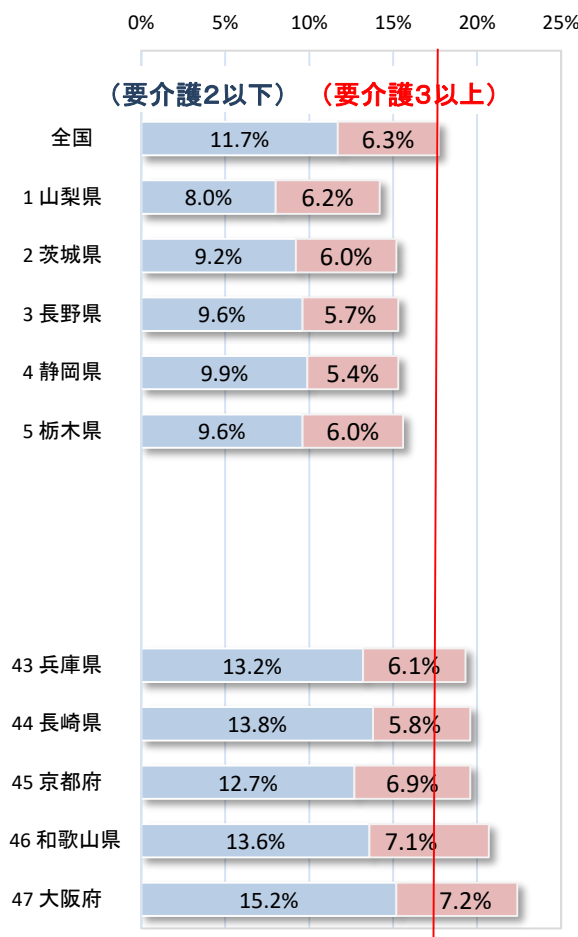
(子宮がん・子宮頸がん) (単位:%)

| | 2007年 | 2010年 | 2013年 | 2016年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 大阪府 | 18.3 | 20.3 | 22.8 | 25.0 |
| 全国 | 21.3 | 24.3 | 27.5 | 28.3 |
| 差 | 3.0 | 4.0 | 4.7 | 3.3 |

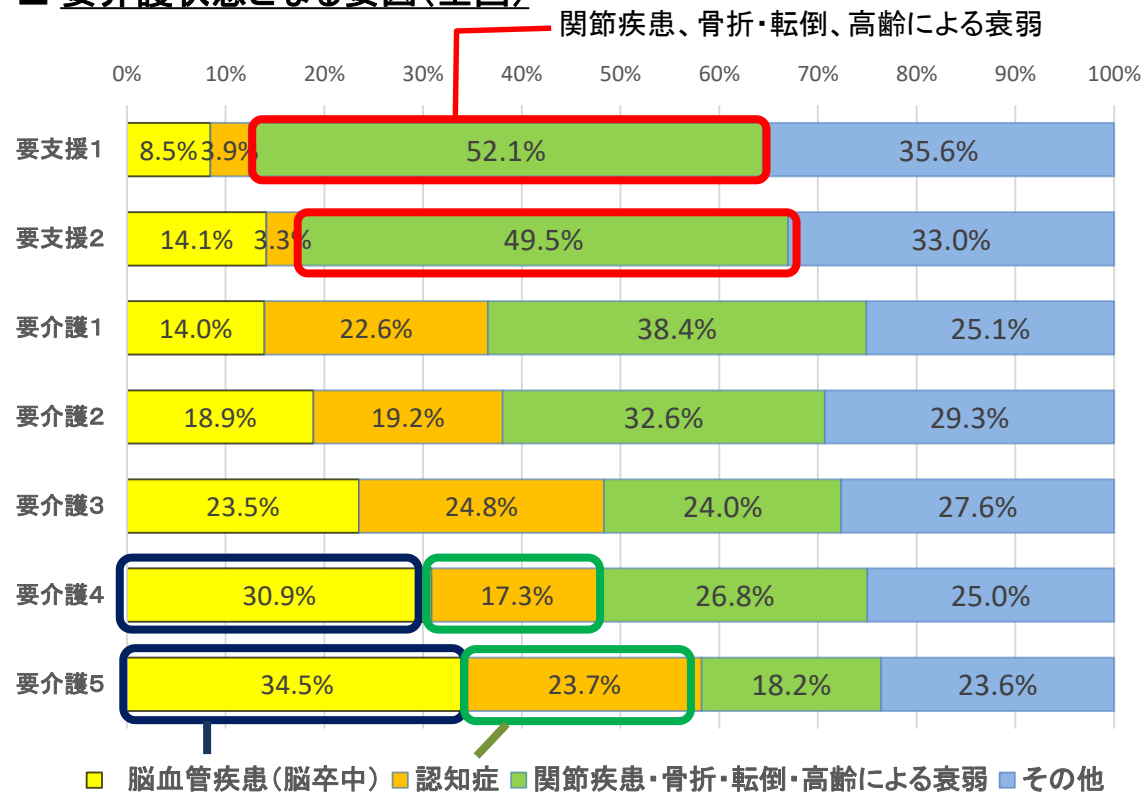
資料: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より作成

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■ 要介護認定率の全国比較(2014年)



■ 要介護状態となる要因(全国)

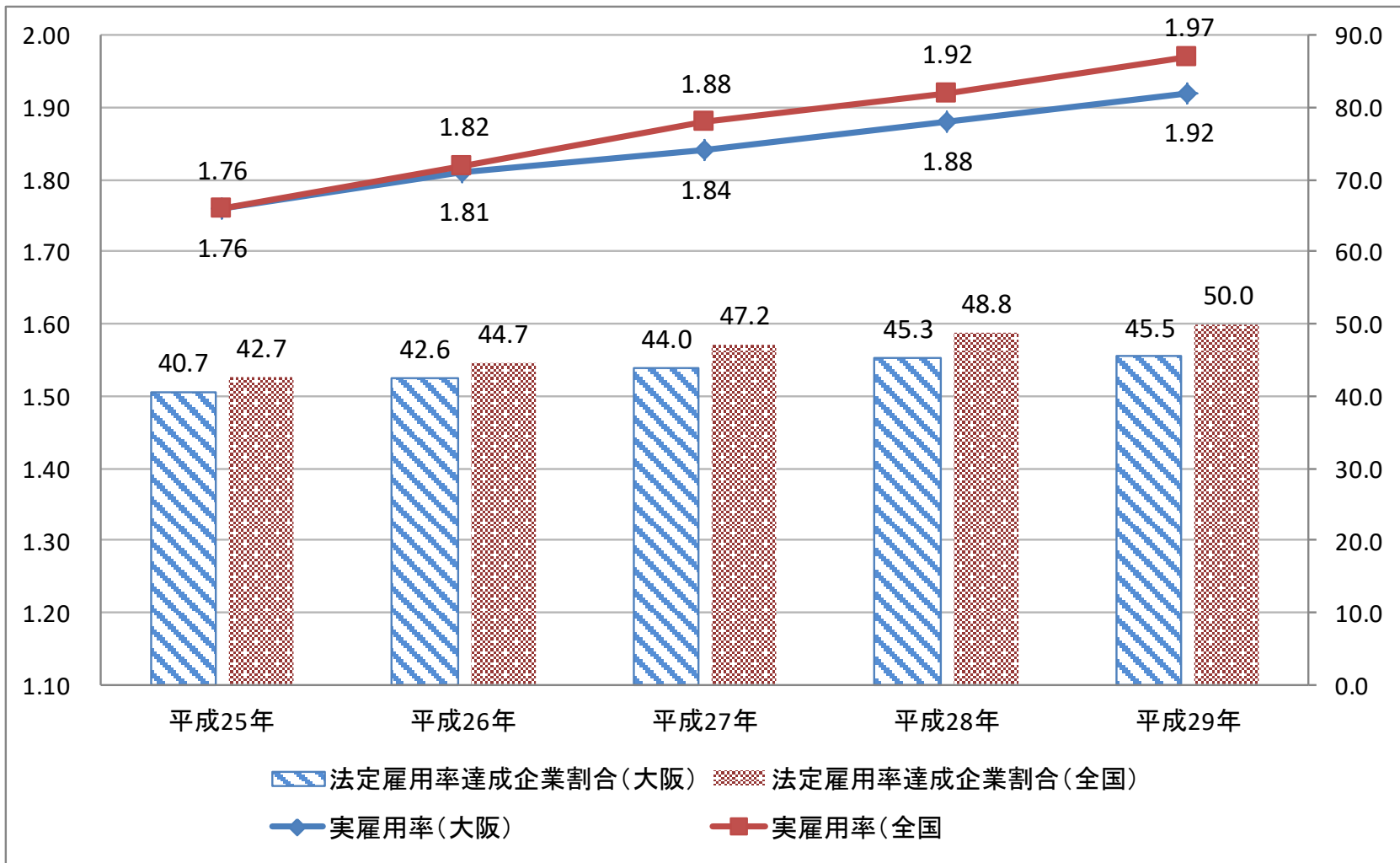


出典：厚生労働省「平成25年 国民生活基礎調査」

| 要介護認定率 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全国 | 2.6 | 2.5 | 3.5 | 3.1 | 2.3 | 2.1 | 1.8 | 17.9 |
| 大阪府 | 4.3 | 3.4 | 3.6 | 3.9 | 2.7 | 2.5 | 2.1 | 22.4 |
| 全国平均との差 | 1.7 | 0.9 | 0.1 | 0.8 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 4.5 |

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■ 障がい者の雇用率・法定雇用率達成企業割合の推移



資料:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」より作成

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■ 新・大阪府地震防災アクションプラン～平成28年度の進捗状況～

- 「新・大阪府地震防災アクションプラン」は、平成27年から36年度までの10年間を取組期間とし、府民の安心安全確保に全力を傾けるため、平成27年度から29年度の3年間を「集中取組期間」としています。
- プランに位置付けている各アクションは、毎年度、進捗状況や目標達成度の評価を行い、その見直し・改善を通じて着実な推進につなげることであり、平成28年度の各アクションの進捗状況評価結果は以下のとおりです。

【アクション全体の進捗状況】

| 各アクションの進捗状況評価 | 平成28年度 |
|-----------------------------|-----------|
| ① 計画以上もしくは概ね計画どおり進んでいるアクション | 100 アクション |
| ② 計画どおり進んでいない | 0 アクション |

| | (府や市町村等の) 取組み結果の定量化が可能 | (府や市町村等の) 取組み結果の定量化が困難 |
|-------------------------|--|--|
| 府自ら取組むアクション | I 定量的指標による管理 ・防潮堤の津波浸水対策 ・水門の耐震化 等 22アクション | II 取組内容の達成状況による評価 ・大阪880万人訓練の充実 ・津波防御施設の閉鎖体制の充実 ・災害医療体制の整備 等 41アクション |
| 市町村や民間団体等の取組みを支援するアクション | III 府の取組内容の達成状況による評価 (注) ・民間建築物の耐震化 ・鉄道施設の防災対策 ・管理化学物質の適正管理指導 等 16アクション | IV 府の取組内容の達成状況による評価 ・地下空間対策の促進 ・帰宅困難者対策の確立 ・災害廃棄物の適正処理 等 21アクション |

各アクションの主だった進捗

- ・第一線防潮堤で「満潮時に地震直後から浸水が始まる危険性がある防潮堤(8.1km)」の対策完了
- ・延焼遮断帯の整備2路線(寝屋川大東線、三国塚口線)
- ・沿岸市町が行う自主防災組織への災害時避難用資機材の配備を支援(70団体)
- ・広域緊急交通路の橋梁の耐震化(363橋完了)
- ・「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針」に基づき、計画的備蓄を実施
- ・「応急仮設住宅建設マニュアル」に基づき災害訓練を実施
- ・大阪府災害福祉広域支援ネットワーク 参画団体と人員派遣や物資供給等に関する情報の連携等について協議し、訓練を実施

(注)：市町村や民間団体等の取組み結果が定量的に示せるものについては、参考数値とします。

■「大阪府密集市街地整備方針」の改定①

H29年度は「大阪府密集市街地整備方針」の対象期間（H26年度～H32(2020)年度）の中間年であるため、これまでの取組みの成果の検証と、新たな推進方策等の検討を行い、「密集市街地対策の検証と今後の取組み」をとりまとめた（H29年12月）。このとりまとめを踏まえた今後の密集市街地対策の方向性を示すため、本方針の改定を行うもの。

検証結果

H32(2020)年度までに不燃領域率40%を達成する見込みの面積は約1,500haにのぼる。残りの750haについても、引き続き達成に向け取組みを進める必要がある。

これまでの取組みにおける主な問題・課題

- ・密集事業に取り組む主体のマンパワー不足
- ・まちの活力が失われ、新しい住民が入ってこない
- ・事業意欲の低下等により除却が進まない
- ・事業の進捗状況がわかりにくく、住民の理解と協力が得られにくい 等

H32(2020)年度までの解消に向け、課題に対応した新たな推進方策が必要

■「大阪府密集市街地整備方針」の改定②

今後の密集市街地対策の方向性

〔取組みの方向性〕

防災性の向上に加え、地域の魅力を向上させる取組みもあわせて行い、新たな住民を呼び込み、まちが活性化するという流れを生み出し、地域の防災性の向上にもつながるといった好循環をめざす。



〔取組みの柱〕

これまでの「まちの不燃化」「延焼遮断帯の整備」「地域防災力の向上」に加え、「暮らしやすいまちづくり」を新たな柱と位置づけ。

新たな推進方策（案）

- **民間連携により事業推進力を強化**
 - ・地元市のマンパワー強化や、地域住民の取組みを強力的にサポート
- **消防・大学等と連携し地域防災力を強化**
 - ・防災訓練やワークショップ等を通じて、住民の防災意識を向上
- **民間の事業意欲を喚起しまちを動かす**
 - ・大規模な公共用地の活用による民間投資の促進
 - ・空地・空家などの地域資源を最大限に活用した魅力あるまちづくり
- **みどりの力でまちを甦らせる**
 - ・地域住民が主体となり、みどりを大幅に増やし、防災性とまちの魅力の両面を向上
- **事業の進捗管理・協働化**
 - ・モニタリング会議による進捗状況や新たな課題の把握
 - ・まちの安全性・事業進捗を住民にわかりやすく示す

方向性Ⅱ)人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

■「大阪府密集市街地整備方針」の改定③

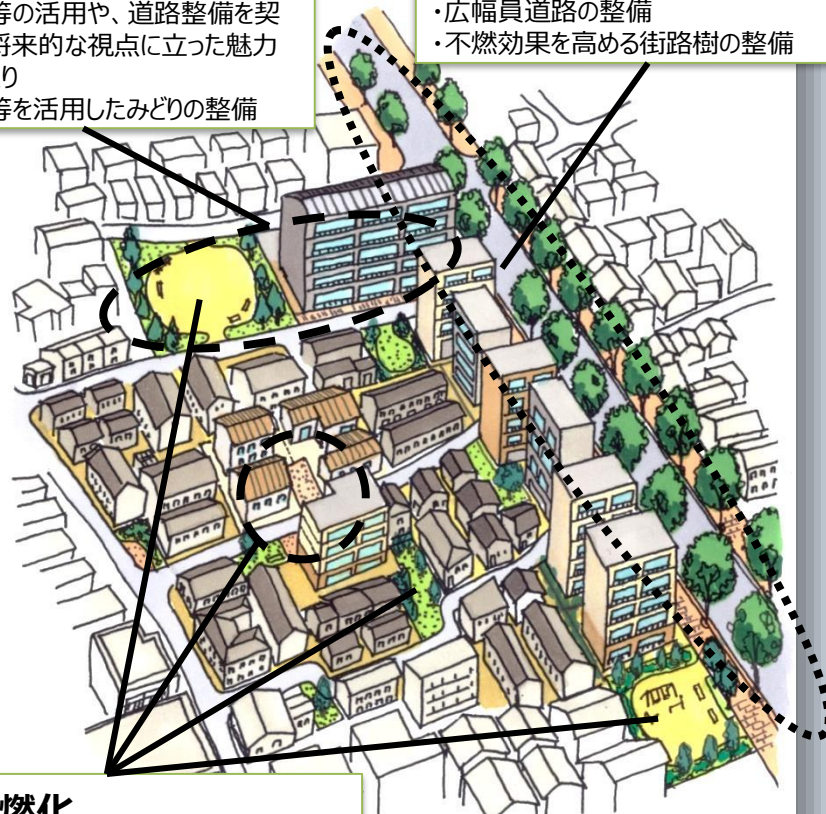
具体的な取組み

暮らしやすいまちづくり

- ・公共用地等の活用や、道路整備を契機とした、将来的な視点に立った魅力あるまちづくり
- ・公共用地等を活用したみどりの整備

延焼遮断帯の整備

- ・広幅員道路の整備
- ・不燃効果を高める街路樹の整備



まちの不燃化

- ・老朽住宅の除却、道路・公園整備のさらなる促進
- ・除却跡地を活用した公園・緑地の確保
- ・空家・空地のまちづくりへの活用

地域防災力の向上

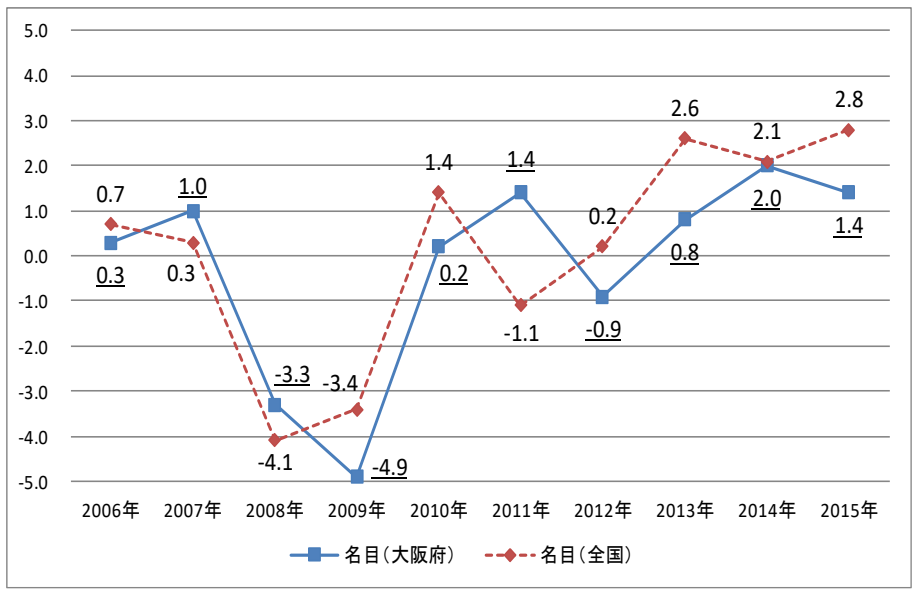
- ・消防・大学と連携した防災力向上
- ・建築防災啓発員による啓発

密集事業の見える化

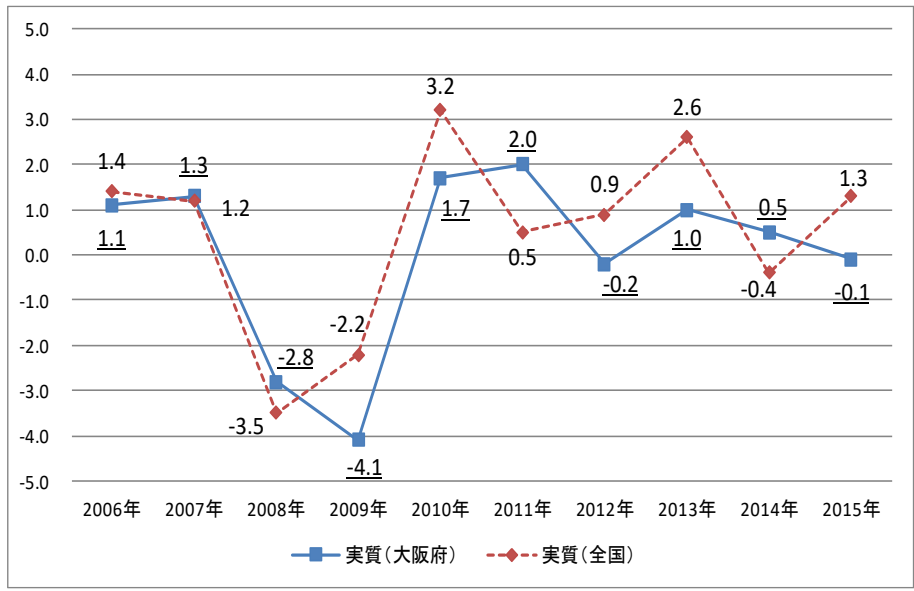
- ・(仮称)密集市街地火災ハザードマップにより住民の防災意識・事業協力意識を向上

方向性Ⅲ) 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

■ 経済成長率(名目)の推移



■ 経済成長率(実質)の推移



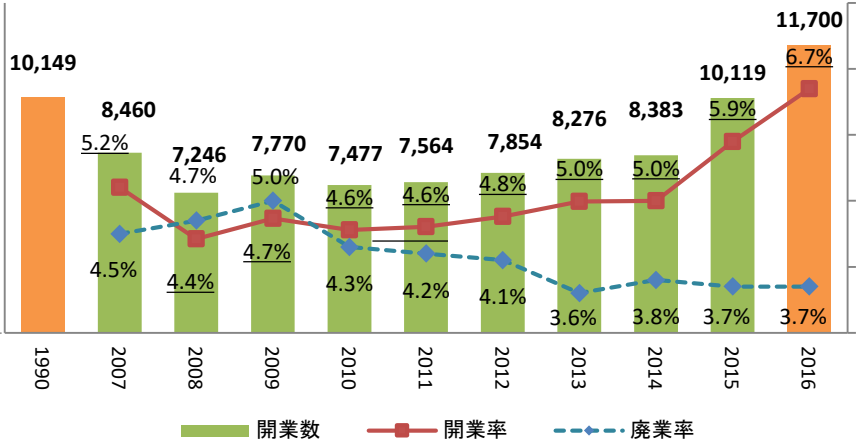
| | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 名目(大阪府) | 0.3 | 1.0 | -3.3 | -4.9 | 0.2 | 1.4 | -0.9 | 0.8 | 2.0 | 1.4 |
| 実質(大阪府) | 1.1 | 1.3 | -2.8 | -4.1 | 1.7 | 2.0 | -0.2 | 1.0 | 0.5 | -0.1 |
| 名目(全国) | 0.7 | 0.3 | -4.1 | -3.4 | 1.4 | -1.1 | 0.2 | 2.6 | 2.1 | 2.8 |
| 実質(全国) | 1.4 | 1.2 | -3.5 | -2.2 | 3.2 | 0.5 | 0.9 | 2.6 | -0.4 | 1.3 |

資料:「平成27年度大阪府民経済計算(早期推計)」及び「2015年度国民経済計算」より作成
 ※2014年度までは確報、2015年度は早期推計。府は2005歴年連鎖価格、国は2011年歴年連鎖価格

・2015年全国のみ新推計に基づく推計
 ・研究開発費、特許使用料、不動産仲介手数料等の項目が追加。
 ・大阪府の数値は今後、推計予定。

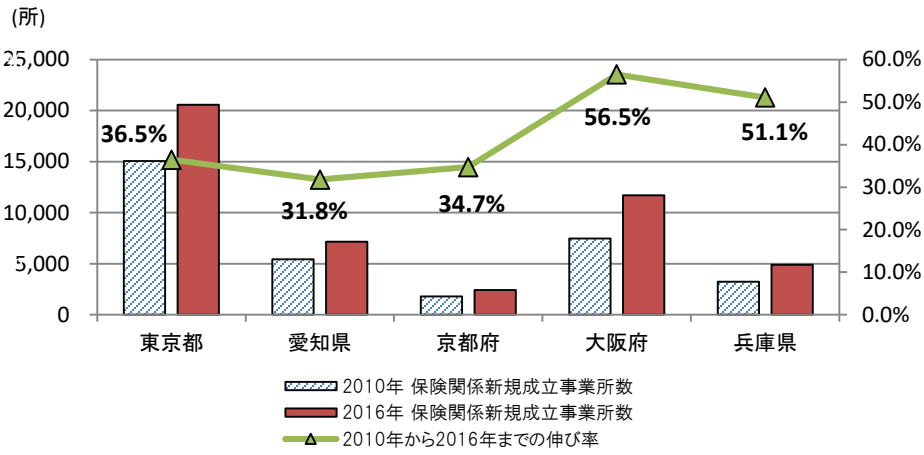
方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■大阪の開業数・廃業数の推移



出典：厚生労働省「雇用保険事業年報」より作成

■開業事業所数比較



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報（都道府県労働局別適用状況）」より作成

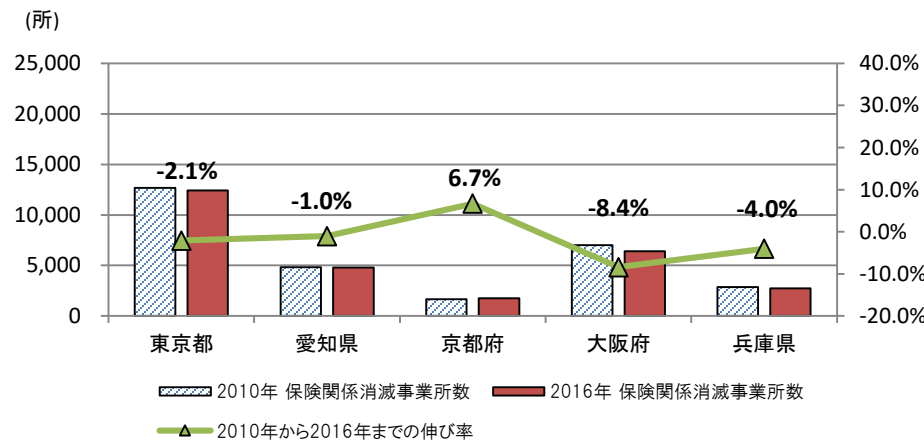
■8大都市府県開業数・全国シェア比較

| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|---------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 北海道 | 4.7% | 4.6% | 4.2% | 3.8% | 3.6% |
| 東京都 | 15.9% | 15.9% | 16.8% | 17.3% | 17.2% |
| 神奈川県 | 5.0% | 5.1% | 5.4% | 6.1% | 6.3% |
| 愛知県 | 5.8% | 5.7% | 6.1% | 6.1% | 6.0% |
| 京都府 | 2.0% | 2.0% | 2.0% | 1.8% | 2.0% |
| 大阪府 | 8.4% | 8.4% | 8.3% | 9.3% | 9.8% |
| 兵庫県 | 3.5% | 3.5% | 3.6% | 3.6% | 4.1% |
| 福岡県 | 4.6% | 4.8% | 4.8% | 4.8% | 4.9% |
| 全国合計 | 93,701 | 99,017 | 101,151 | 109,202 | 119,780 |
| 八大都市シェア | 49.9% | 50.0% | 51.2% | 52.7% | 53.7% |

上段：全国シェア率
下段：新規開業事業所数(年度)

出典：雇用保険統計年報(国基準)

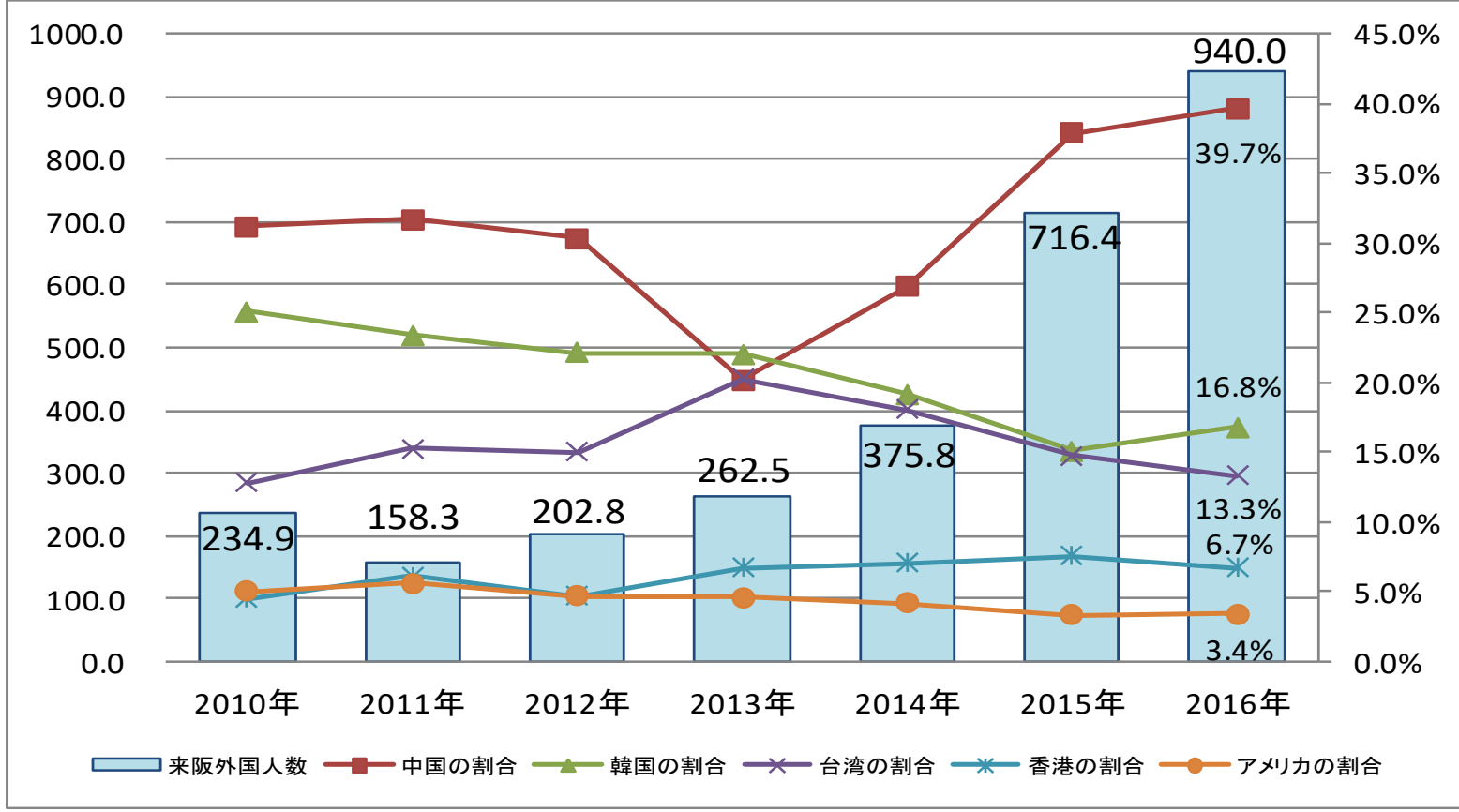
■廃業事業所数比較



資料：厚生労働省「雇用保険事業年報（都道府県労働局別適用状況）」より作成

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■ 来阪外客数の推移



| | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 来阪外国人数(万人) | 234.9 | 158.3 | 202.8 | 262.5 | 375.8 | 716.4 | 940.0 |
| 中国の割合 | 31.2% | 31.7% | 30.3% | 20.2% | 26.8% | 37.9% | 39.7% |
| 韓国の割合 | 25.1% | 23.4% | 22.1% | 22.0% | 19.2% | 15.1% | 16.8% |
| 台湾の割合 | 12.8% | 15.2% | 15.0% | 20.2% | 18.1% | 14.7% | 13.3% |
| 香港の割合 | 4.5% | 6.1% | 4.6% | 6.7% | 7.1% | 7.5% | 6.7% |
| アメリカの割合 | 5.0% | 5.6% | 4.6% | 4.6% | 4.2% | 3.3% | 3.4% |

資料: 国際観光統計(JNTO)及び消費動向調査(観光庁)より作成

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■ 訪日外国人消費のGRP(関西の実質域内総生産)への波及効果

関西では、大阪、京都のGRPへの波及が大きく、大阪においては2016年ではGRPの押し上げ効果が+1.02%と推計されている

| | 2013年 (百万円) | 2014年 (百万円) | 2015年 (百万円) | 2016年 (百万円) | 寄与 (%) (2013年) | 寄与 (%) (2014年) | 寄与 (%) (2015年) | 寄与 (%) (2016年) |
|------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 滋賀県 | 10,280 | 15,319 | 30,197 | 35,151 | 0.18 | 0.26 | 0.48 | 0.54 |
| 京都府 | 69,712 | 90,845 | 131,663 | 148,831 | 0.71 | 0.90 | 1.26 | 1.42 |
| 大阪府 | 132,098 | 192,865 | 333,483 | 387,415 | 0.36 | 0.51 | 0.87 | 1.02 |
| 兵庫県 | 32,073 | 45,295 | 85,879 | 90,240 | 0.17 | 0.23 | 0.43 | 0.45 |
| 奈良県 | 5,094 | 7,409 | 15,021 | 17,563 | 0.14 | 0.21 | 0.40 | 0.46 |
| 和歌山県 | 7,128 | 11,274 | 22,470 | 28,137 | 0.20 | 0.32 | 0.64 | 0.77 |
| 関西計 | 256,385 | 363,007 | 618,713 | 707,338 | 0.32 | 0.45 | 0.75 | 0.86 |

出典：APIR Trend Watch No.42 訪日外国人消費の経済効果

■ 訪日外国人消費の雇用への波及効果

| | 2013年 (人) | 2014年 (人) | 2015年 (人) | 2016年 (人) | 寄与 (%) (2013年) | 寄与 (%) (2014年) | 寄与 (%) (2015年) | 寄与 (%) (2016年) |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 滋賀県 | 1,441 | 2,204 | 4,334 | 5,115 | 0.20 | 0.31 | 0.62 | 0.74 |
| 京都府 | 13,383 | 17,607 | 24,923 | 28,214 | 1.05 | 1.38 | 1.94 | 2.17 |
| 大阪府 | 24,201 | 35,364 | 59,355 | 70,220 | 0.57 | 0.84 | 1.40 | 1.64 |
| 兵庫県 | 5,375 | 7,503 | 14,057 | 14,694 | 0.21 | 0.29 | 0.53 | 0.55 |
| 奈良県 | 939 | 1,361 | 2,792 | 3,317 | 0.15 | 0.22 | 0.44 | 0.52 |
| 和歌山県 | 1,240 | 1,942 | 3,651 | 4,670 | 0.27 | 0.41 | 0.76 | 0.97 |
| 関西計 | 46,578 | 65,981 | 109,112 | 126,230 | 0.47 | 0.66 | 1.09 | 1.25 |

出典：APIR Trend Watch No.42 訪日外国人消費の経済効果

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

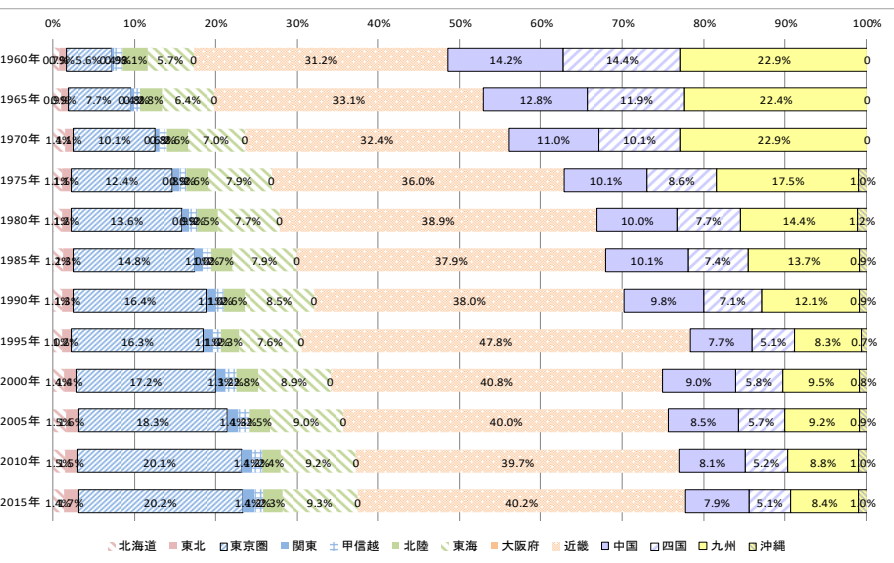
■地方から大阪府への転入推移(人数)

| | 総数 | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 1960年 | 299,785 | 2,244 | 2,562 | 16,755 | 1,064 | 2,736 | 9,430 | 17,066 | — | 93,559 | 42,592 | 43,147 | 68,630 | — |
| 1965年 | 367,785 | 3,369 | 3,389 | 28,142 | 1,455 | 2,859 | 10,218 | 23,355 | — | 121,739 | 47,106 | 43,708 | 82,445 | — |
| 1970年 | 382,777 | 5,469 | 4,097 | 38,478 | 2,184 | 3,125 | 9,994 | 26,975 | — | 123,839 | 42,131 | 38,724 | 87,761 | — |
| 1975年 | 272,590 | 2,951 | 3,119 | 33,860 | 2,295 | 2,485 | 6,968 | 21,479 | — | 98,125 | 27,566 | 23,321 | 47,716 | 2,705 |
| 1980年 | 227,396 | 2,476 | 2,691 | 30,813 | 1,939 | 2,158 | 5,776 | 17,487 | — | 88,454 | 22,686 | 17,423 | 32,794 | 2,699 |
| 1985年 | 206,629 | 2,565 | 2,683 | 30,642 | 2,069 | 2,042 | 5,496 | 16,400 | — | 78,333 | 20,883 | 15,272 | 28,310 | 1,934 |
| 1990年 | 192,030 | 2,176 | 2,577 | 31,509 | 2,161 | 1,905 | 5,026 | 16,278 | — | 73,067 | 18,815 | 13,658 | 23,146 | 1,712 |
| 1995年 | 229,979 | 2,372 | 2,718 | 37,424 | 2,609 | 2,349 | 5,228 | 17,389 | — | 109,880 | 17,691 | 11,727 | 19,039 | 1,553 |
| 2000年 | 179,141 | 2,459 | 2,540 | 30,785 | 2,278 | 2,192 | 4,950 | 15,866 | — | 73,000 | 16,057 | 10,428 | 17,076 | 1,510 |
| 2005年 | 166,732 | 2,543 | 2,603 | 30,506 | 2,389 | 2,101 | 4,251 | 15,037 | — | 66,672 | 14,209 | 9,559 | 15,355 | 1,507 |
| 2010年 | 151,123 | 2,275 | 2,285 | 30,428 | 2,041 | 1,751 | 3,573 | 13,906 | — | 60,014 | 12,248 | 7,802 | 13,325 | 1,475 |
| 2015年 | 156,413 | 2,142 | 2,644 | 31,597 | 2,164 | 1,872 | 3,641 | 14,480 | — | 62,921 | 12,290 | 7,926 | 13,149 | 1,587 |

※関東は東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を除き、近畿は大阪府を除く。

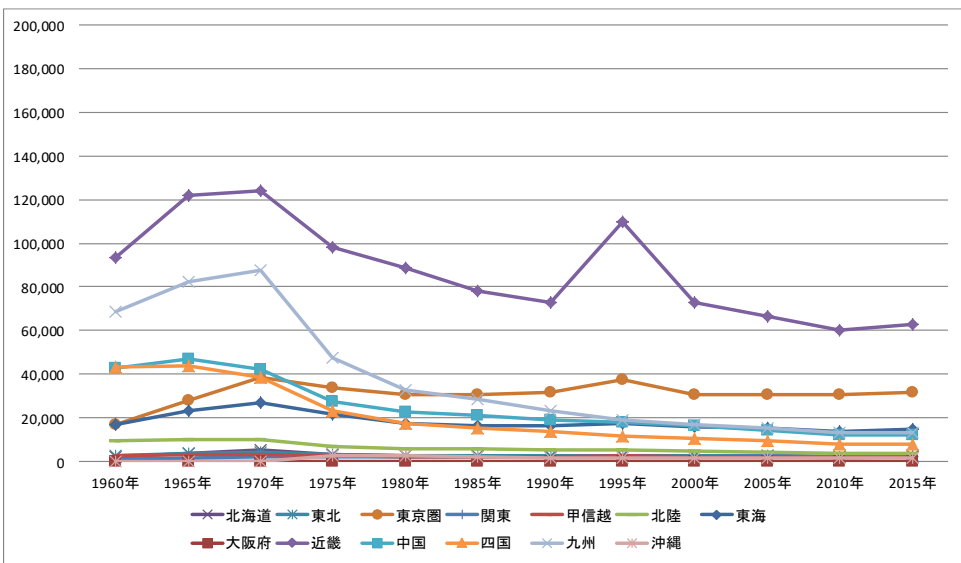
資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■大阪府への転入元(地域別割合)の推移



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■地方からの大阪府への転入推移(人数)



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

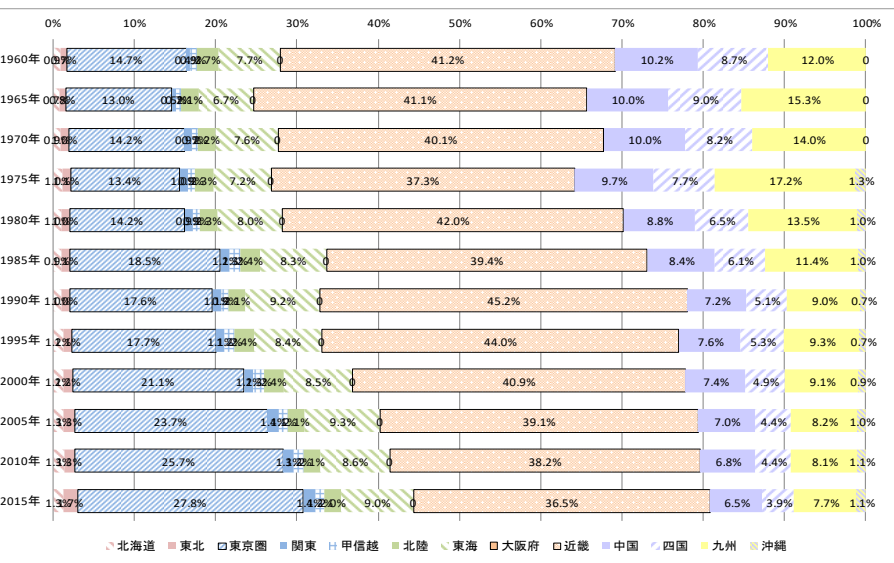
方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■大阪府から各地域への転出推移(人数)

| | 総数 | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 1960年 | 148,790 | 1,351 | 1,112 | 21,826 | 623 | 1,338 | 3,974 | 11,420 | — | 61,288 | 15,188 | 12,873 | 17,797 | — |
| 1965年 | 267,989 | 1,926 | 2,228 | 34,909 | 1,235 | 1,902 | 5,679 | 18,059 | — | 110,122 | 26,872 | 24,178 | 40,879 | — |
| 1970年 | 326,077 | 2,940 | 3,153 | 46,424 | 3,049 | 2,391 | 7,277 | 24,903 | — | 130,846 | 32,730 | 26,788 | 45,576 | — |
| 1975年 | 308,921 | 3,213 | 3,499 | 41,249 | 3,077 | 2,629 | 7,120 | 22,162 | — | 115,249 | 29,865 | 23,642 | 53,240 | 3,976 |
| 1980年 | 267,682 | 2,613 | 2,668 | 38,024 | 2,487 | 2,364 | 6,056 | 21,362 | — | 112,347 | 23,534 | 17,445 | 36,096 | 2,686 |
| 1985年 | 226,894 | 2,114 | 2,528 | 42,004 | 2,618 | 2,855 | 5,468 | 18,766 | — | 89,500 | 19,013 | 13,903 | 25,924 | 2,201 |
| 1990年 | 243,752 | 2,385 | 2,398 | 42,859 | 2,719 | 2,256 | 5,026 | 22,384 | — | 110,287 | 17,543 | 12,363 | 21,947 | 1,585 |
| 1995年 | 218,231 | 2,658 | 2,374 | 38,595 | 2,385 | 2,522 | 5,281 | 18,287 | — | 95,963 | 16,614 | 11,568 | 20,362 | 1,622 |
| 2000年 | 205,795 | 2,465 | 2,412 | 43,364 | 2,465 | 2,579 | 4,971 | 17,591 | — | 84,239 | 15,252 | 9,987 | 18,632 | 1,838 |
| 2005年 | 175,488 | 2,236 | 2,306 | 41,677 | 2,465 | 1,970 | 3,694 | 16,271 | — | 68,651 | 12,297 | 7,725 | 14,368 | 1,828 |
| 2010年 | 154,693 | 1,994 | 2,051 | 39,709 | 2,012 | 1,830 | 3,217 | 13,249 | — | 59,082 | 10,574 | 6,792 | 12,531 | 1,652 |
| 2015年 | 154,117 | 1,964 | 2,614 | 42,867 | 2,188 | 1,800 | 3,083 | 13,808 | — | 56,238 | 10,005 | 5,989 | 11,831 | 1,730 |

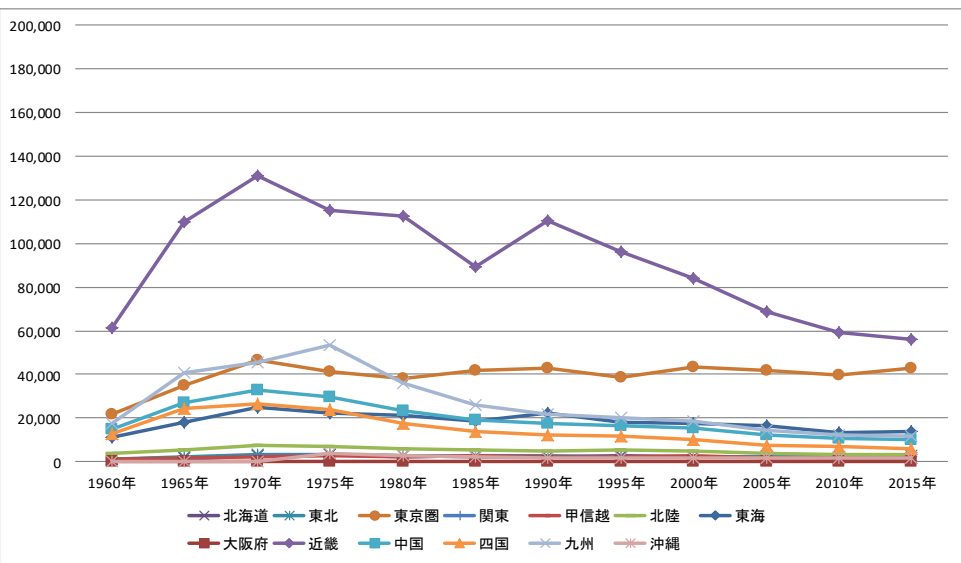
※関東は東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を除き、近畿は大阪府を除く。 資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■大阪府からの転出先(地域別割合)の推移



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■大阪府からの各地域への転出推移(人数)



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

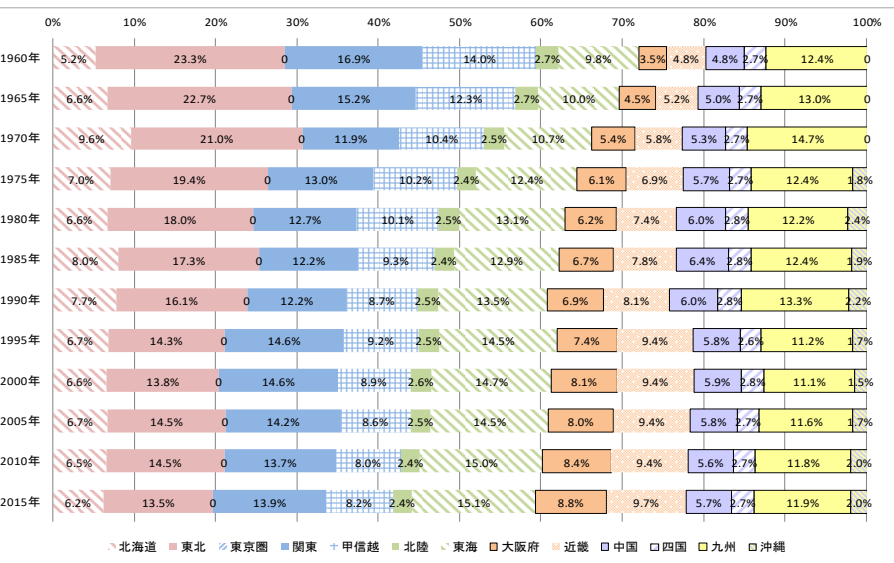
■地方から東京圏への転入推移(人数)

| | 総数 | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|-------|---------|--------|---------|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| 1960年 | 631,361 | 32,561 | 147,366 | — | 106,661 | 88,277 | 17,225 | 62,122 | 21,826 | 30,212 | 30,006 | 17,073 | 78,032 | — |
| 1965年 | 779,315 | 51,636 | 176,845 | — | 118,539 | 95,905 | 21,315 | 77,890 | 34,909 | 40,441 | 39,244 | 21,425 | 101,166 | — |
| 1970年 | 858,462 | 82,303 | 180,248 | — | 102,495 | 89,662 | 21,245 | 91,628 | 46,424 | 49,939 | 45,384 | 23,245 | 125,889 | — |
| 1975年 | 676,460 | 47,351 | 131,235 | — | 87,897 | 69,039 | 16,155 | 83,679 | 41,249 | 46,984 | 38,399 | 18,438 | 84,176 | 11,858 |
| 1980年 | 608,579 | 40,208 | 109,371 | — | 77,364 | 61,205 | 15,352 | 79,634 | 38,024 | 45,137 | 36,560 | 16,975 | 74,128 | 14,621 |
| 1985年 | 626,612 | 50,206 | 108,467 | — | 76,265 | 58,428 | 15,219 | 80,709 | 42,004 | 48,596 | 39,840 | 17,563 | 77,510 | 11,805 |
| 1990年 | 624,722 | 48,272 | 100,554 | — | 76,398 | 54,512 | 15,839 | 84,098 | 42,859 | 50,349 | 37,594 | 17,790 | 82,828 | 13,629 |
| 1995年 | 524,070 | 35,271 | 75,035 | — | 76,770 | 48,230 | 13,211 | 75,917 | 38,595 | 49,063 | 30,253 | 13,854 | 58,786 | 9,085 |
| 2000年 | 537,318 | 35,301 | 74,282 | — | 78,242 | 48,046 | 14,101 | 78,998 | 43,364 | 50,574 | 31,463 | 14,801 | 59,826 | 8,320 |
| 2005年 | 521,623 | 35,005 | 75,415 | — | 73,930 | 44,777 | 12,896 | 75,392 | 41,677 | 49,193 | 30,144 | 14,030 | 60,265 | 8,899 |
| 2010年 | 470,077 | 30,634 | 68,221 | — | 64,271 | 37,797 | 11,069 | 70,669 | 39,709 | 44,279 | 26,330 | 12,475 | 55,386 | 9,237 |
| 2015年 | 487,251 | 30,216 | 65,589 | — | 67,489 | 39,998 | 11,680 | 73,581 | 42,867 | 47,318 | 27,608 | 13,122 | 58,056 | 9,727 |

※関東は東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を除き、近畿は大阪府を除く。

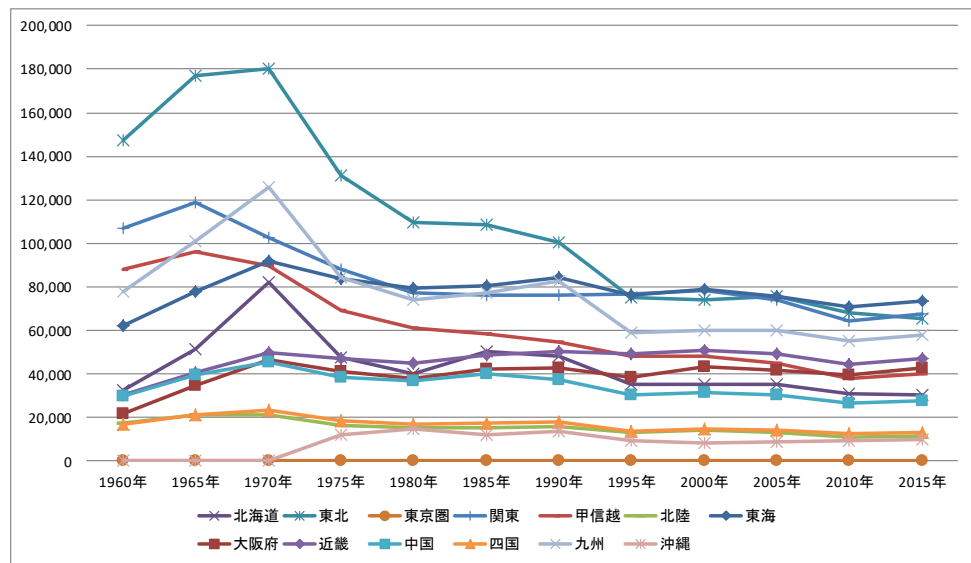
資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■東京圏への転入元(地域別割合)の推移



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

■地方からの東京圏への転入推移(人数)



資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■各地域の転入超過数(2017年)

| | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄県 |
|----|---------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|-------|----------|----------|---------|----------|---------|
| 総数 | ▲ 6,569 | ▲ 28,276 | 119,779 | ▲ 8,253 | ▲ 11,931 | ▲ 3,240 | ▲ 10,221 | 2,961 | ▲ 15,989 | ▲ 12,463 | ▲ 8,315 | ▲ 16,371 | ▲ 1,112 |
| 男性 | ▲ 2,314 | ▲ 12,546 | 51,404 | ▲ 2,168 | ▲ 5,136 | ▲ 729 | ▲ 3,138 | ▲ 628 | ▲ 9,630 | ▲ 5,098 | ▲ 3,304 | ▲ 6,248 | ▲ 465 |
| 女性 | ▲ 4,255 | ▲ 15,730 | 68,375 | ▲ 6,085 | ▲ 6,795 | ▲ 2,511 | ▲ 7,083 | 3,589 | ▲ 6,359 | ▲ 7,365 | ▲ 5,011 | ▲ 10,123 | ▲ 647 |

■年齢階層別・男女別の転入超過数の推移

(15～24歳・男性)

| | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄県 |
|-------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|----------|---------|
| 2013年 | ▲ 3,514 | ▲ 9,518 | 42,140 | ▲ 3,164 | ▲ 5,123 | ▲ 1,415 | 2,379 | 3,853 | ▲ 4,074 | ▲ 4,242 | ▲ 3,624 | ▲ 12,321 | ▲ 1,377 |
| 2014年 | ▲ 3,358 | ▲ 9,098 | 43,386 | ▲ 3,190 | ▲ 5,053 | ▲ 1,263 | 1,545 | 2,710 | ▲ 4,180 | ▲ 4,080 | ▲ 3,668 | ▲ 12,230 | ▲ 1,521 |
| 2015年 | ▲ 2,809 | ▲ 9,288 | 45,805 | ▲ 3,414 | ▲ 5,258 | ▲ 1,545 | 1,389 | 3,668 | ▲ 5,543 | ▲ 4,457 | ▲ 3,772 | ▲ 13,020 | ▲ 1,756 |
| 2016年 | ▲ 2,801 | ▲ 9,219 | 46,655 | ▲ 3,608 | ▲ 5,118 | ▲ 1,688 | 1,082 | 3,380 | ▲ 5,418 | ▲ 4,080 | ▲ 4,187 | ▲ 13,486 | ▲ 1,512 |
| 2017年 | ▲ 2,229 | ▲ 9,731 | 46,162 | ▲ 3,038 | ▲ 5,311 | ▲ 1,599 | 834 | 2,561 | ▲ 6,190 | ▲ 3,860 | ▲ 3,976 | ▲ 11,957 | ▲ 1,666 |

(15～24歳・女性)

| | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄県 |
|-------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 2013年 | ▲ 2,699 | ▲ 10,903 | 41,573 | ▲ 5,316 | ▲ 5,477 | ▲ 2,061 | ▲ 2,727 | 6,202 | ▲ 1,286 | ▲ 4,493 | ▲ 3,681 | ▲ 7,898 | ▲ 1,234 |
| 2014年 | ▲ 2,598 | ▲ 10,744 | 42,803 | ▲ 5,336 | ▲ 5,644 | ▲ 2,018 | ▲ 2,916 | 6,112 | ▲ 2,070 | ▲ 4,318 | ▲ 3,608 | ▲ 8,273 | ▲ 1,390 |
| 2015年 | ▲ 2,907 | ▲ 11,259 | 47,196 | ▲ 5,620 | ▲ 6,277 | ▲ 2,155 | ▲ 3,885 | 6,575 | ▲ 2,217 | ▲ 4,900 | ▲ 4,041 | ▲ 9,193 | ▲ 1,317 |
| 2016年 | ▲ 2,732 | ▲ 11,717 | 49,892 | ▲ 6,040 | ▲ 6,570 | ▲ 2,208 | ▲ 4,197 | 6,262 | ▲ 2,616 | ▲ 4,863 | ▲ 4,102 | ▲ 9,870 | ▲ 1,239 |
| 2017年 | ▲ 2,786 | ▲ 12,109 | 51,404 | ▲ 6,123 | ▲ 6,557 | ▲ 2,382 | ▲ 4,209 | 6,275 | ▲ 2,983 | ▲ 5,185 | ▲ 4,172 | ▲ 9,787 | ▲ 1,386 |

(25～39歳・男性)

| | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄県 |
|-------|---------|---------|--------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|-----|
| 2013年 | ▲ 809 | 1,253 | 6,829 | ▲ 1,424 | ▲ 531 | ▲ 17 | ▲ 867 | ▲ 1,406 | ▲ 3,892 | ▲ 398 | ▲ 119 | 725 | 656 |
| 2014年 | ▲ 1,139 | 992 | 9,796 | ▲ 808 | ▲ 574 | ▲ 198 | ▲ 986 | ▲ 2,573 | ▲ 4,570 | ▲ 120 | ▲ 225 | ▲ 346 | 751 |
| 2015年 | ▲ 1,185 | ▲ 72 | 11,567 | ▲ 1,408 | ▲ 815 | 113 | ▲ 837 | ▲ 1,403 | ▲ 5,327 | ▲ 879 | ▲ 356 | ▲ 101 | 703 |
| 2016年 | ▲ 640 | ▲ 889 | 9,699 | ▲ 1,231 | ▲ 444 | ▲ 29 | ▲ 1,534 | ▲ 1,157 | ▲ 4,352 | ▲ 216 | ▲ 227 | 478 | 542 |
| 2017年 | ▲ 694 | ▲ 1,784 | 11,063 | ▲ 947 | ▲ 639 | 161 | ▲ 1,981 | ▲ 1,245 | ▲ 4,185 | ▲ 984 | ▲ 271 | 914 | 592 |

(25～39歳・女性)

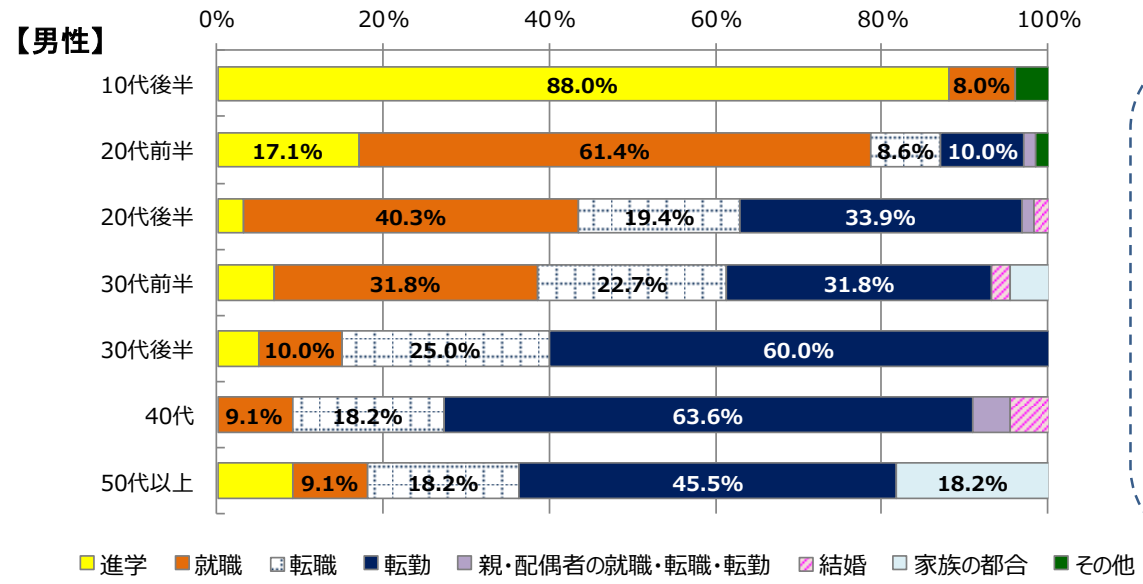
| | 北海道 | 東北 | 東京圏 | 関東 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 大阪府 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄県 |
|-------|---------|---------|--------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|-----|
| 2013年 | ▲ 1,065 | ▲ 266 | 10,949 | ▲ 1,029 | ▲ 271 | ▲ 394 | ▲ 1,209 | ▲ 1,401 | ▲ 3,823 | ▲ 758 | ▲ 438 | ▲ 897 | 602 |
| 2014年 | ▲ 1,312 | ▲ 425 | 13,315 | ▲ 1,267 | ▲ 523 | ▲ 394 | ▲ 1,436 | ▲ 1,596 | ▲ 3,949 | ▲ 861 | ▲ 724 | ▲ 1,573 | 745 |
| 2015年 | ▲ 1,237 | ▲ 1,298 | 14,566 | ▲ 1,712 | ▲ 789 | ▲ 293 | ▲ 888 | ▲ 1,301 | ▲ 4,207 | ▲ 909 | ▲ 823 | ▲ 1,948 | 839 |
| 2016年 | ▲ 851 | ▲ 1,210 | 12,780 | ▲ 1,260 | ▲ 396 | ▲ 153 | ▲ 1,150 | ▲ 1,245 | ▲ 3,969 | ▲ 1,246 | ▲ 424 | ▲ 1,680 | 804 |
| 2017年 | ▲ 965 | ▲ 1,720 | 13,256 | ▲ 1,333 | ▲ 356 | ▲ 197 | ▲ 1,497 | ▲ 848 | ▲ 3,959 | ▲ 1,221 | ▲ 498 | ▲ 1,320 | 658 |

※関東は東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）を除き、近畿は大阪府を除く。

資料:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)より作成

方向性Ⅲ)大阪府の経済成長率の推移

■ 大阪府から東京圏への転出理由(年代別)



Uターンに関するWEBアンケートの概要

- ・調査対象
大阪府出身の東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住生活者のうち、20代以下、30代、40代、50代、60代以上の男女
- ・調査時期
2015年9月25日から9月28日まで
- ・回収サンプル数
511

